

新会員紹介

日本オーディオ協会入会のご挨拶

Wefield ウィンテスト株式会社 オーディオ事業部

野本 宗靖

概要

Wefield は 2019 年 10 月に日本オーディオ協会へ入会しました。そのご挨拶と今後の展望に関して述べる。

ABSTRACT

We, Wefield are the new audio brand that formed by Wintest Corp. in Yokohama, which is a professional Audio system team and enrolled in the “Japan Audio Society” last October. We started as a distributor for home audio part of amphion loudspeakers Ltd.

1. はじめに

この度、2019 年 10 月に「日本オーディオ協会」に入会をさせて頂いたウィンテスト株式会社オーディオ事業部の野本と申します。当社は本業界において新参者ですが、当社オーディオ事業部（以下「Wefield」）に在籍する者は、私を含め長年オーディオ業界に関わった経験を持っております。

最近の若者文化の中で音楽はやはり重要な「立ち位置」を確保しているにも関わらず、その文化の中に「オーディオ」と言う文字は見る事が出来ても、私の認識とは年々異なるものに変化をしました。当協会への入会を機に、オーディオマーケット、オーディオの歴史認識を新たにし、そして協会主催のフェア等へ積極的に参加を行い、会員の皆様との情報交換を通し、業界にご尽力されている先輩諸氏方々協会員の皆様とともに、オーディオ文化の活性化に向けて微力ながら奮闘致したく、そのような思いで入会させて頂きました。催事ある度、またお手をお借りする事もあるかと存じますが、どうぞ宜しくお願い致します。

2. 当社の活動について

ウィンテスト株式会社は 2018 年 6 月に「Wefield」を設立し、フィンランドの amphion loudspeakers Ltd.（以下「アンフィオン社」）の日本におけるコンシューマー向けの輸入代理店を務めており、同社のホームオーディオ部門のハイエンドスピーカーを輸入販売、そして国内におけるサポートを開始しました。当社はオーディオ業界への参入にあたり、まず重要な音の出口に着目し、代理店ビジネスから開始し、後々は自社ブランドによる音の入り口、そしてアンプ等、製品開発を行う事をミッションとし活動しております。

少しウインテスト株式会社の紹介をさせていただきます。当社は、神奈川県横浜市に本社を置き、半導体自動検査装置メーカーとして 1993 年に半導体検査、特にアナログ／デジタル信号が混在する IC や、カメラそしてスマートフォン等に搭載されるイメージセンサーの検査を得意としています。こんな会社がなぜ、オーディオ業界に進出したのか、と皆様思われるでしょう。2020 年現在の日本では半導体の工場が激減しています。多くの工場やメーカーはここ 10 年で殆ど台湾、中国に移ってしまい日本にはわずかに残る程度となり、当社のメイン市場もアジア方面に移ってまいりました。そのような中、国内向け新規ビジネスを模索した結果、当社のローノイズ技術や高い電子設計技術を活かせる事業として、オーディオ機器に参入することになりました。

しかし、オーディオ業界においては無名の当社、そこで海外有名ハイエンドスピーカーメーカーのアンフィオン社の力を借りようと同社 CEO の Anssi Hyvönen(アンシ・ヘヴオネン)氏と面談。そのスピーカーの音を聞いた瞬間、サイズ感を超越した豊かな低域、明瞭感とスピード感を兼ね備えたサウンド、ジャンル問わず現代でも昔の録音でも楽しく聴けてデザイン性に優れ、無類の音楽好きの私が虜になるのに時間は要りませんでした。幸いなことに私の経験を生かせる環境も整い、また素晴らしいスピーカーにもめぐり逢い、ご協力を頂ける諸先輩方にも恵まれ、公私ともに新たな道に漕ぎ出す機会と勇気を得ることができました。

私たちは、勿論、自身で猛烈なオーディオファンでありたいと思っており、また取り扱いをするメーカー様の製品の最大のファンになる事、そして、メーカー様と一丸となり、「設計、製造された方々の思い」が込められた「魂」への情熱を一滴もこぼさず忠実に、日本国内のオーディオファンの皆様に提供できるよう努めることが使命であると考えております。その実現のためには、ただ持ってくるのではなく、海外と日本の商習慣の違いを擦り合わせる事が重要であり、日本国内でより受け入れて頂くためには、どのようなブランドとして紹介すべきなのか、そして自分たちをどのようにブランディングすべきなのか、そして今後どのように業界に貢献していけるのか、メーカーや当社の技術者と日々話し合いを重ねています。お客様が安心して購入いただいた製品をお使い頂く事は勿論、海外のメーカー様が日本で商いを行いたい場合、Wefield に任せれば間違いのない、心配ないと思っ頂きたいと一歩ずつ、そして時に猪突猛進で取り組んでおります。

2019 年の GDP 上半期は 1.8%前後、しかし後半は伸び悩み 1.6%の減であり、生活実感でも厳しい状況が続き、お客様の財布が固い中、市場にも大きな変化が生じております。特にインターネットの普及と高速化は、この 10 年オーディオ業界における消費行動の変化となって現れ、ハイレゾを始めとしたコンテンツのデジタル化も著しい時代となってまいりました。反面アナログの音質等に再注目が集まるなど、時代の変化にどう対応するべきであるのか、一人だけ(1社だけ)では難しい時代であるとも感じております。無類の音楽好きの私には世界の財産である音楽、そして見るだけでも楽しく洗練されたオーディオ機器をお客様にご紹介することで、皆様の日々の暮らしが少しでも豊かなものとなればという願望と、初めてオーディオに触れるような若い世代の皆様にも、新たな価値観を見出して頂ける、或いは仕事世代の皆様には、かつて音楽に

没頭したあの時間をまた、取り戻せるような取り組みも行いたいとも考えております。

個人的な見解ではございますが、35歳前後を境にオーディオ機器の概念がレコードプレーヤー、アンプ、スピーカー、真空管等の世代と、イヤフォン、ヘッドフォン（有線、Bluetooth）、DAPやスマートフォン等の世代と二極化しており、音楽のジャンルにも世代間での違いがあります。両世代の方々を橋渡しする様な役割が出来た時、弊社の付加価値や新しい価値への手がかりとなるのではないかと考えております。

3. まとめ

当社は日本オーディオ協会の会員として、一日も早く日本のオーディオメーカーの1社となれるよう努力するという最重要課題がございます。オーディオ協会、オーディオ業界の益々の発展に寄与出来る様、一生懸命邁進してまいりますので、宜しくお願い致します。

筆者プロフィール

野本 宗靖（のもと むねやす）※写真右

PCAUDIO 黎明期先駆けとなった USB DAC 兼ヘッドフォンアンプ DR DAC シリーズやポータブルヘッドフォンアンプ imAmp 等、韓国 AUDIOTRAK の営業、マーケティング、ブランディング、サポートを担当。

立ち上げでは韓国 Audinst（代表製品 HUD-mx1 等）、フランス ELIPSON(PLANET シリーズ)、日本 NOBUNAGA LAB に携わる。（業務は同上）

その後、米国 GRADO のレコードカートリッジの日本市場への再投入や、ヘッドフォンの取り扱い英国 RHA の有線イヤフォン、Bluetooth イヤフォンの営業を含む業務全般の経験を経て、Wefield ウィンテスト株式会社では輸入から事業全般に携わり現在に至る。

